

舞台「エブリ・ブリリアント・シング～ありとあらゆるステキなこと～」関連企画

＜グリーンケア講演会＞

「悲しみを受け止め、ともに歩むために」

身近な人との別れを作品のテーマの一つとする演劇公演「エブリ・ブリリアント・シング～ありとあらゆるステキなこと～」(2/22-23開催)の関連企画としてグリーン(悲嘆)ケアに関する講演会を開催します。



人生の中で遭遇する、大切な人との死別などの辛く苦しい悲しみとどのように向き合ったらいいのか。深い悲しみを受け止める力と勇気を見出す「グリーンケア」の考えをご紹介します。

「グリーン(悲嘆)ケア」とは病気・災害・事件・事故等による親しい人との死別などの喪失体験によって生じる深い悲しみから立ち直るための支援のことです。

講師 高木 慶子 (たかき よしこ / 上智大学グリーンケア研究所特任所長)



熊本県生まれ。聖心女子大学文学部心理学科卒業。上智大学神学部修士課程修了。博士(宗教文化)。現在、上智大学グリーンケア研究所特任所長。「生と死を考える会全国協議会」会長。「兵庫・生と死を考える会」会長。一般社団法人グリーンケアパートナー理事。援助修道会会員。「日本スピリチュアルケア学会」理事長。兵庫県「県勢高揚功労」(2015年度)、「カトリック大学連盟 カトリック学術研究奨励賞」受賞、「神戸新聞 第63回平和賞」受賞、「財団法人兵庫地域政策研究所機構 第7回21世紀のまちづくり・研究部門賞」受賞、など。三十数年来、ターミナル(終末期)にある人々のスピリチュアルケア、及び悲嘆にある人々のグリーンケアに携わる一方、学校教育現場で使用できる「生と死の教育」カリキュラムビデオを制作。幅広い分野で全国的にテレビや講演会で活躍中。著書として、『喪失体験と悲嘆-阪神淡路大震災で子供と死別した34人の母親の言葉』(医学書院)、『大切な人をなくすということ』(PHP出版)、『悲しみの乗り越え方』(角川書店)、『悲しんでいい～大災害とグリーンケア～』(NHK出版)、『悲しみは、きっと乗り越えられる』(大和出版)『それでもひとは生かされている』(PHP研究所)『それでも誰かが支えてくれる』(大和書房)、最新刊『「ありがとう」といって死のう』(幻冬舎)など多数。

日時 2020年 1月11日(土) 14:00開始 (13:30受付開始・開場/約90分間)

会場 茨木市市民総合センター(クリエイトセンター) 2階 多目的ホール
JR茨木駅徒歩10分 阪急茨木市駅徒歩12分
(567-0888大阪府茨木市駅前四丁目6番16号/072-624-1726)

参加料 500円(当日精算)
学生・「エブリ・ブリリアント・シング」大阪茨木公演チケットお持ちの方は無料
※当日、学生証及び公演チケットをご提示ください。※就学前のお子様はご遠慮ください

申込・問合せ (公財)茨木市文化振興財団 文化事業係
電話 072-625-3055(9-17時) / web www.ibabun.jp

※なるべくご予約をお願いいたします。残席ある場合は当日入場可。(12/10(火) 9:00~受付開始)



EVERY BRILLIANT THING
by Duncan Macmillan
with Jonny Donahoe
翻訳・演出: 谷賢一
エブリ・ブリリアント・シング
～ありとあらゆるステキなこと～

公演情報「エブリ・ブリリアント・シング～ありとあらゆるステキなこと～」
2020/2/22(土)・23(日)14:00開演 / 13:30開場
出演: 佐藤隆太 演出: 谷賢一
茨木クリエイトセンターセンターホール 舞台上特設劇場
【全席自由・整理番号付】前売 一般3,500円 他
チケット取扱 チケットぴあ、イープラス、ローソンチケット 他